

2024年度
第53回 福祉住環境コーディネーター
検定試験[®]

1 級・後半
(記述式)

【制限時間 90分】

第1問

災害時における避難場所、および障害者等に対する合理的配慮に関連する以下の設問に答えよ。

設問(1)

「災害対策基本法」に基づき市町村が指定する指定避難所は、一般避難所と福祉避難所に区分され、福祉避難所の受入対象者としては「災害時において、高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者」(以下、「要配慮者」という)が想定されている。福祉避難所その他の避難所等に関する以下の設問に答えよ。

設問1-(1)

市町村が指定する福祉避難所として、どのような施設か考えられるか、①利用可能な施設を一つ挙げ、②その施設を福祉避難所として指定するうえでの長所を、それぞれの解答欄に記述せよ。

① 利用可能な施設

② 福祉避難所として指定するうえでの長所

設問1-(2)

避難所等においては、要配慮者等が災害時に必要な情報を得られるようにするために、要配慮者等の特性に応じた情報・コミュニケーション支援が重要となることを踏まえ、①～④の要配慮者ごとの避難所生活段階における情報・コミュニケーション支援の具体的な方法を、解答欄に50字～100字で記述せよ。

① 視覚障害者

② 構音障害のある人

③ 外国人

④ 発達障害児・者

※営利目的での利用は禁止します

設問 (2)

下記は、両側変形性膝関節症であるAさん（70代男性）の事例である。

Aさんは、屋内では、手すりや家具につかまり歩いて移動しているが、歩行が不安定でゆっくりである。屋外では、ハンドル形電動車椅子を使い移動している。車椅子への移乗は、手すりなどにつかまり、自分で移乗することができている。

Aさんは通院先のBクリニックに次の申し出を行った。

「ハンドル形電動車椅子を使用することで、自分一人で通院ができる。歩行には転倒などの不安があるため、院内でもハンドル形電動車椅子を使用したい。」

Bクリニックは、ビルの一階を借りているため、院内の大規模な改修や拡張は難しい状況である。Aさんからの申し出を受けたBクリニックは、Aさんに実現可能な配慮を提案して建設的な対話を行うために、福祉住環境コーディネーターに相談をした。

福祉住環境コーディネーターは現地調査を実施した。クリニック入り口前には、駐車場と駐輪場スペースがある。自動ドアのある入り口までスロープがあるが、ハンドル形電動車椅子で院内に入るとは難しい状況である。院内の待合室や廊下にも椅子が置かれており、ハンドル形電動車椅子での移動は難しい状況であった。また、午前中は混雑し、待合スペースが満席になっている。スペースの確保や動線の変更は医療機器の移設を伴うため難しい状況であると思われた。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の考え方を踏まえ、Aさんに対する合理的配慮として考えられる、①建物や設備についての配慮や工夫、および②サービスの提供についての配慮や工夫を、それぞれの解答欄に記述せよ。

① 建物や設備についての配慮や工夫

② サービスの提供についての配慮や工夫

第2問

次の事例を踏まえ、以下の設問に答えよ。

<事例>

【M団地の概要】（図1参照）

東京のベッドタウンであるA県Z市北部に位置する「M団地」は、古くからある住宅地の一角に1980年代初頭に整備された中規模団地である。団地の間取りは、夫婦と子ども2人程度での暮らしが想定された間取り（2LDK程度）となっている。

公立の小学校と中学校が隣接し、近くにはK短期大学（保育、栄養専攻）、市立病院があり、団地近隣にある商店街には就労継続支援B型事業所が運営するベーカリーショップもある。最寄りの私鉄駅までは3km程度離れているため、住民や学生の主な交通手段はバスか自家用車である。

開発から40年を迎え、団地住民の高齢化が進行し、高齢化率は2023（令和5）年時点で約37%に達し、高齢の独居世帯の数も増えている。Z市が実施した団地高齢者の調査からは、家族や友人・知人以外の相談相手がいない人の割合が高いこと、また、認知症予備軍（MCI）の増加が明らかになっている。

一方で、隣接する小中学校に在籍する子どもの数は年々減少している。かつて盛んだった団地の子ども会活動も、参加者と担い手がともに減少した結果、子どもが楽しめる行事や居場所もほとんどなくなってしまった。

また、近年では手ごろな家賃価格帯から、低所得世帯、外国人のファミリー世帯の移り住みが増え、古くから居住する世帯と多様な属性を持つ新規転入世帯が混在する状況になっている。

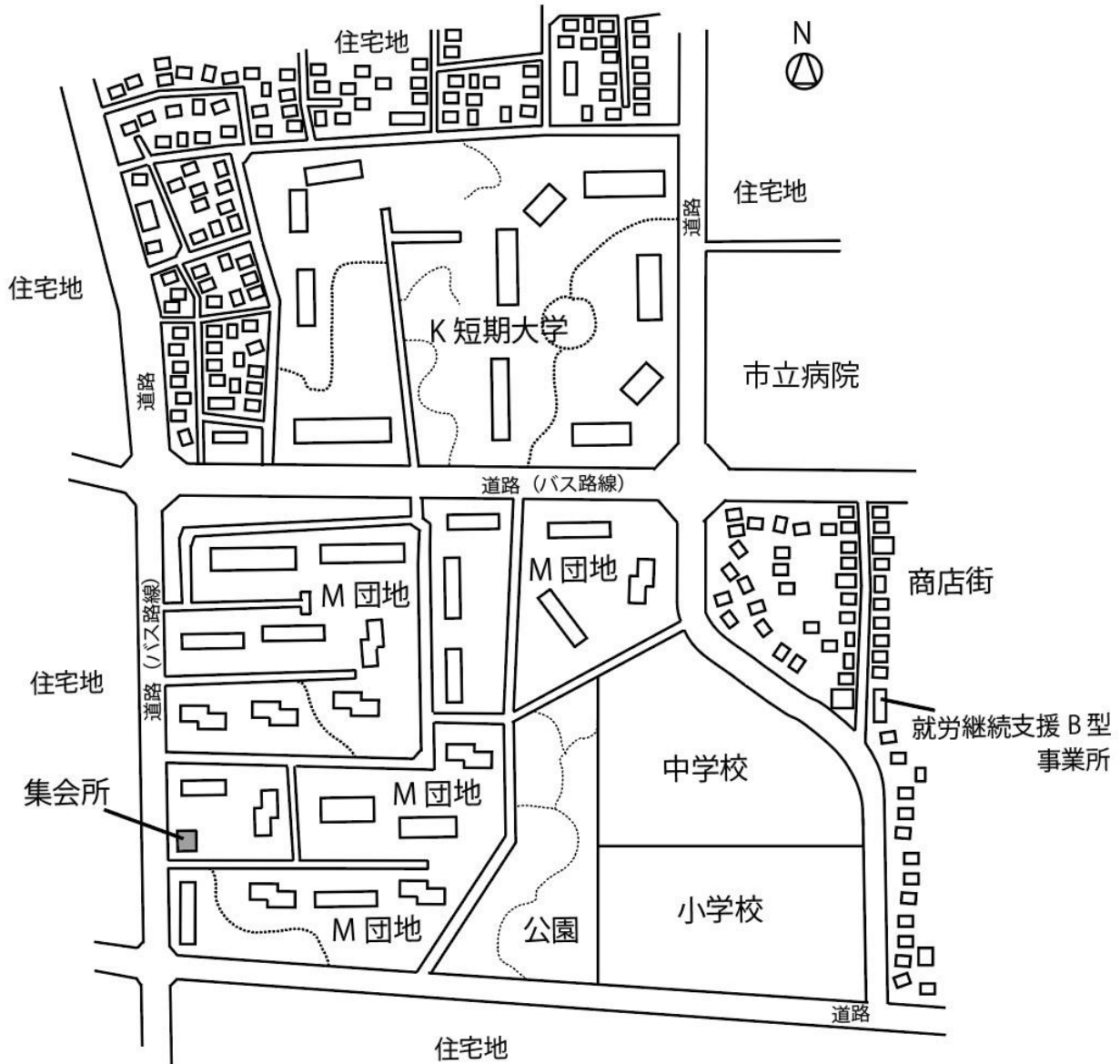
【集会所の再活用案】（図2参照）

M団地の西側に位置する集会所は、かつては自治会活動のほか様々な住民活動、子ども会イベント等の会場として活発に利用されてきた。しかし、近年ではコロナ禍の影響もあり、高齢者を中心としたカラオケサークル（月2回）以外にはほとんど使われていない状態がしばらく続いている。

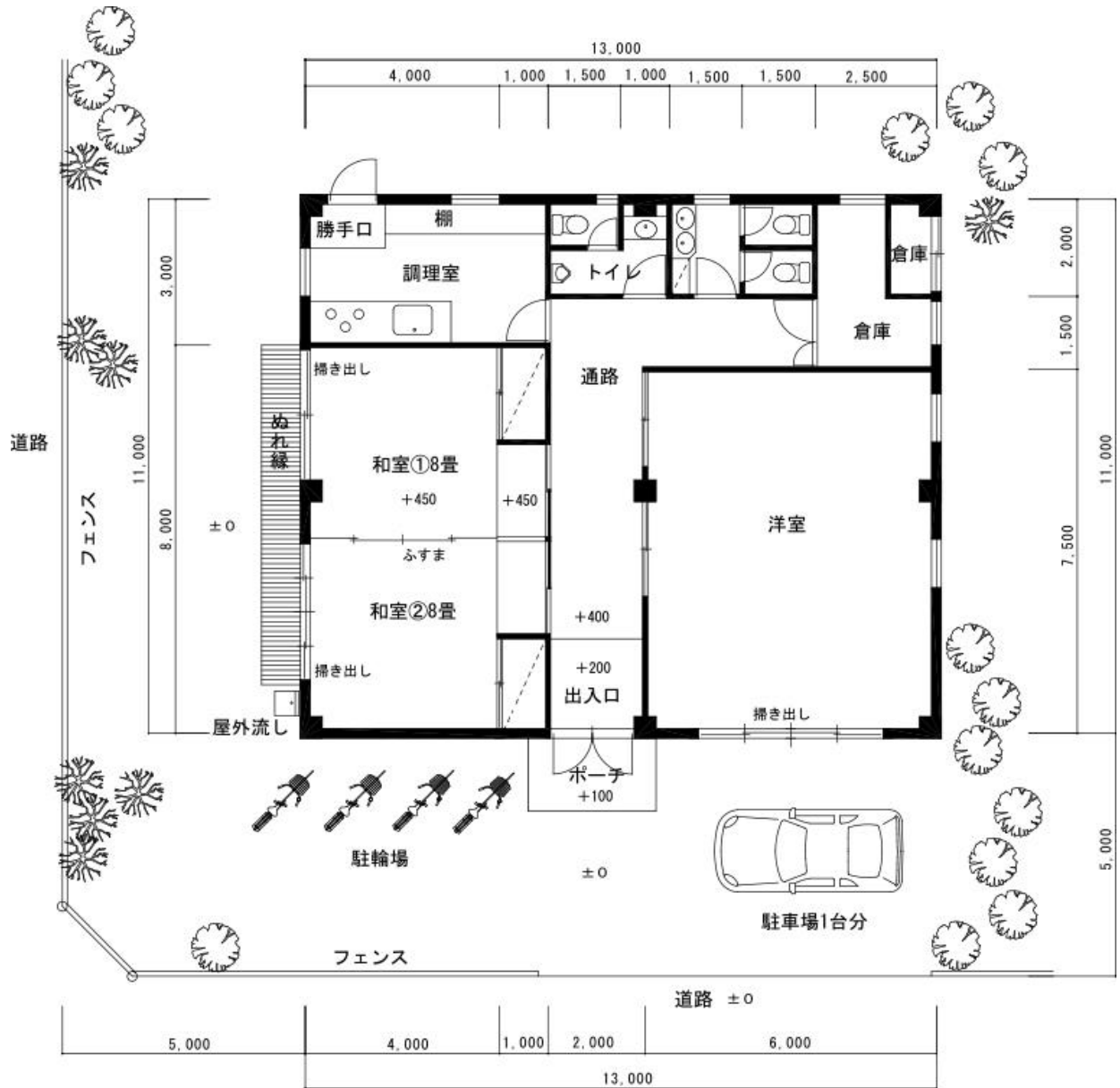
この春、自治会長が交代したことをきっかけに、集会所の活用について住民の話し合いが行われた。その結果、集会所をもっと活用し、ここを拠点に自分たちで地域の安心・安全の確保や多様な交流の機会を設けることで、団地の活性化を図っていこう、という方向性が確認された。

ひとつの具体案として、ソーシャル・インクルージョンの考えを採り入れた「コミュニティカフェ」を今後定期的で開催する案が出された。

< 図 1 > M団地周辺図



< 図 2 > 集会所平面図 (平屋)



※営利目的での利用は禁止します

設問 (1)

M団地での新たな取り組みは「地域共生社会」の実現に向けた取り組みといえるが、その実現 についての課題を、M団地の地域課題や特性を踏まえて、解答欄に150字程度で記述せよ。

設問 (2)

コミュニティカフェのほかに、集会所を使って、地域の安心・安全の確保や団地の活性化を図ることを目的として考えられる具体的な取り組みの提案を、活用できる社会資源との組み合わせ において3つ、解答欄に記述せよ。ただし、活用できる社会資源は、<事例>の中に示されているもののみとする。

※1つの取り組みの提案において、社会資源は複数記述してもよい。

※1つの社会資源を、複数の取り組みの提案の中で記述してもよい。

① 活用できる社会資源

② 取り組みの提案



① 活用できる社会資源

② 取り組みの提案



① 活用できる社会資源

② 取り組みの提案

設問 (3)

集会場を「コミュニティカフェ」の場所として活用する場合、【1】～【4】の各項目において、現在の集会場の課題となる点を2つずつ箇条書きで、解答欄に記述せよ。また、記述した課題に対して福祉住環境コーディネーターとして提案しうる具体的なアドバイスの内容を、集会場の活用のあり方と利用者像を踏まえて、解答欄に記述せよ。

【1】 集会所の出入り及びアプローチについて

① 課題1 (箇条書き)

② 課題2 (箇条書き)

③ 課題に対する具体的なアドバイス内容



【2】 調理・配膳について

① 課題1 (箇条書き)

② 課題2 (箇条書き)

③ 課題に対する具体的なアドバイス内容



【3】 和室及び洋室の利用について

① 課題1 (箇条書き)

② 課題2 (箇条書き)

③ 課題に対する具体的なアドバイス内容



【4】 トイレについて

① 課題1 (箇条書き)

② 課題2 (箇条書き)

③ 課題に対する具体的なアドバイス内容

※営利目的での利用は禁止します

設問 (4)

集会場を地域に開かれた「コミュニティカフェ」とするために、物理的な環境整備としてどのようなことが考えられるか、解答欄に200字程度で具体的に記述せよ。

第3問

次の事例を踏まえ、以下の設問に答えよ。

<事例>

Aさんは11歳の女兒（身長135cm・体重15kg）である。脳性麻痺による痙直型の四肢麻痺がある。日常生活動作（ADL）は全介助の状態であり、たんの吸引や人工呼吸器（夜間のみ）などの医療的ケアが必要である。

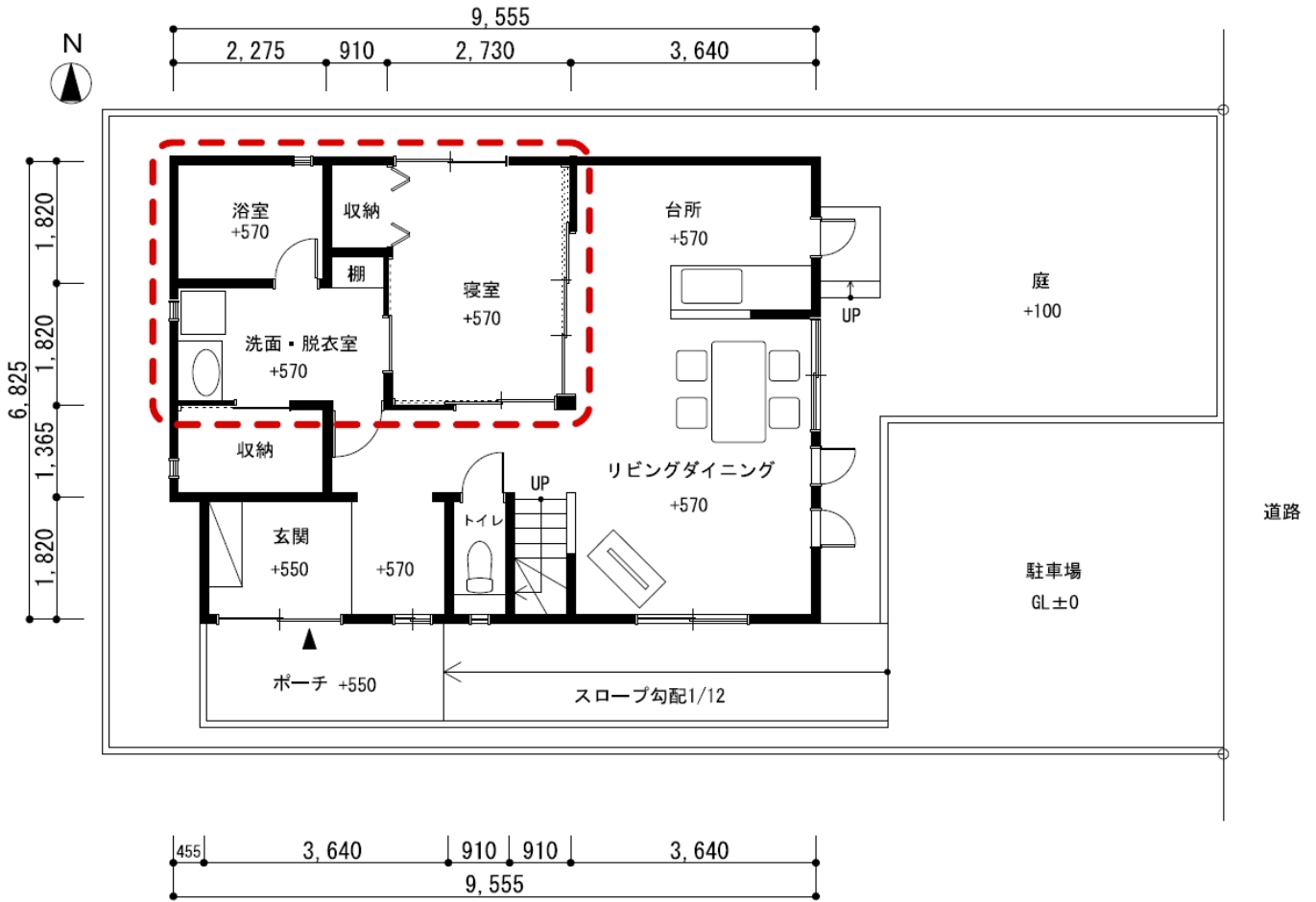
家の中では姿勢保持装置上や床上で過ごすことが多く、特別支援学校へ通学するときなど、外出時は介助用車椅子を使っている。

現在は賃貸の集合住宅の1階に居住している。Aさんの母親は長年の介助により腰痛を患っており、Aさんを介助しやすい戸建ての新築住宅への転居を希望していた。そこで、母親はハウスメーカーが作成した平面図案を福祉住環境コーディネーターのBさんに見てもらい、リフトの設置について相談した。

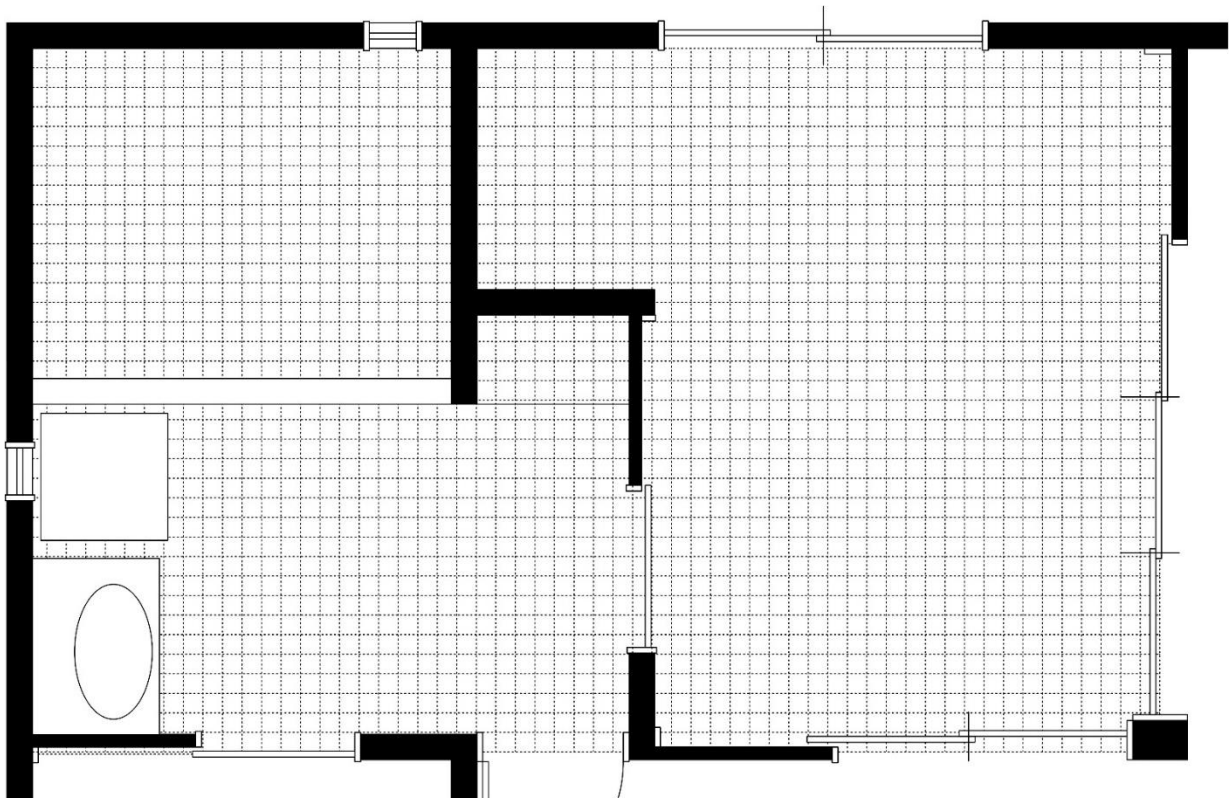
<図3>は、ハウスメーカーが一般家庭を想定して提案した仮の平面図（間取り図）である。赤色の点線で囲んだ、Aさんの寝室、洗面・脱衣室、浴室部分について、リフトを使って移動および移乗するためのプランを**解答用紙**に記載せよ。なお、記載にあたっては、浴室入り口およびその壁は<図3>の提案を却下し、適切なものを設定すること。また、下記の条件を満たすこと。

- 【リフト】 Aさんがリフトを使って、寝室のベッドから洗面・脱衣室を通り、浴槽まで安全に移動および移乗ができるように計画しなさい。
リフトの可動範囲を平面図上に太い線で分かるように記入すること。
現段階では、吊り具の仕様は考えなくてよい。
- 【寝室部分】 ベッドを配置しなさい。収納は考えなくてよい。
- 【浴室部分】 扉を図示し、浴槽を配置しなさい。
扉には必ず有効開口幅員部分の場所と数値を記入すること。
窓の位置は考えなくてよい。

< 図 3 >



【解答用紙】



(1マス 100mm×100mm)

※営利目的での利用は禁止します